

リオン式 ★  ゾーントレード

マシンガン ハントFX

Machinegun Hunt FX

オフィシャルガイドブック



～エントリー編1～
ゾーンエントリー



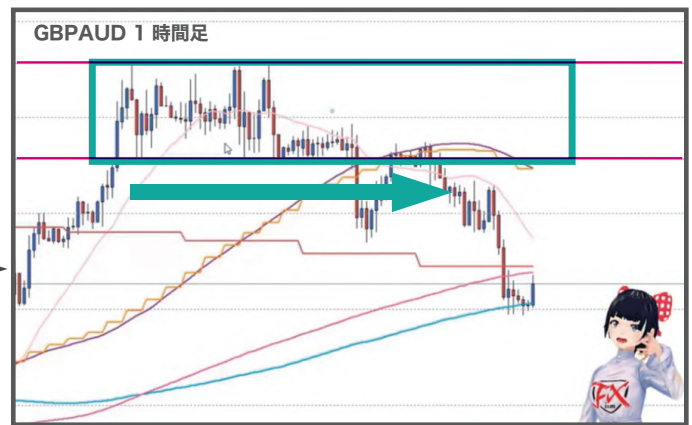
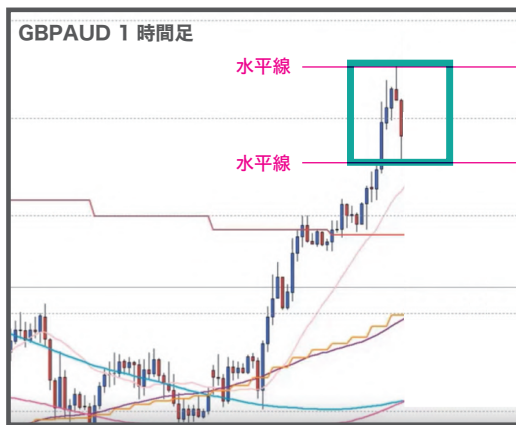
1 エントリー準備

リオンのメイン通貨「GBPAUD」を例にした
ゾーンエントリーの事前準備&手順です。

準備の内容と手順

1. 上位足チャートでボックスを描く。

GBPAUD チャート。350pips ほど上げ続けた場面で「もし、ここで上げ止まるならレンジになるかも」と予測します。



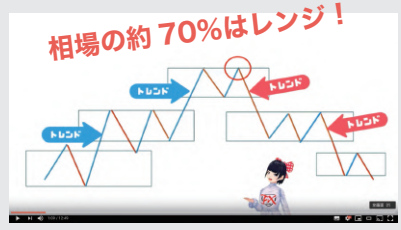
2. 「5分足チャート」に切り替える

5分足に替えてエントリーを待ちます。

※ 実は、ここはまだ上げトレンドが終わったと確証が持てる場所ではありません。
たまたま上値は止まりましたが、上位足 MA がまだ上向きである以上、慎重に
トレードする必要があります。実際に同じような場面になったら、上位時間足
に戻してみましょう。「こんな所でエントリーすべきではない」と良く分かります。



補足



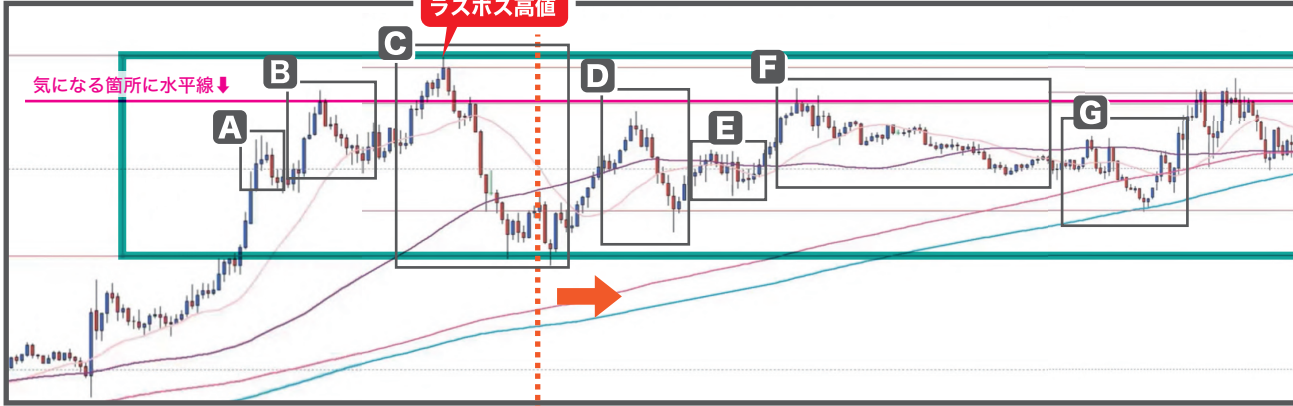
「レンジ」と「トレンド」を確認

レンジになっている箇所が多い事にも気づくはずですが、このトレンドをレンジの頭から狙うのが、リオン式の基本。自分の性格や、生活スタイルに合わせて、取れる所だけをとっていきます。



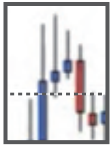
2 エントリー方法の実例を紹介

GBPAUD 5分足



1時間足

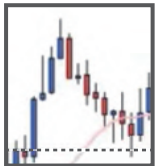
1時間で見た時の「仮の安値」が、まだ決まっていない。



キリ番▶

A キリ番を突破

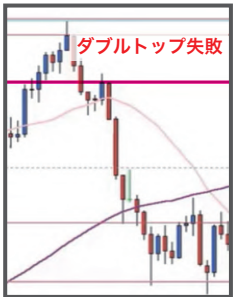
キリ番を陽線で突破された所。ここからショートはしません。



キリ番▶

B 上ヒゲ後の陰線

うっかり、この辺りから入ったら次のキリ番バウンドで利確。



ダブルトップ失敗

C ダブルトップ失敗

Bの直近高値を越えてしまいWトップ不成立。Bの高値で水平線を引いていたとして。再度、水平線を下抜けからのリバース・タッチで止まった所。ここなら、小さめの三尊でエントリーを検討できます。

1時間足

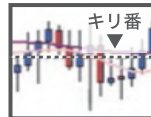
まずは気になる箇所に水平線を引いておきます。

またボックス上限付近になるCの高値は、仮に **ラスボス高値** と設定しておき...



D 水平線に届かない場面

小さめの「上ヒゲピンバー」をつけて、値動きが止まった所。水平線には届いていないものの **ラスボス高値** からの切下がりのようにも見えるので、ショートが検討できる場面です。ここでエントリーした時は、ボックス下限付近の下ヒゲ辺りで逃げます。



キリ番▶

E キリ番下げ失敗

「キリ番」付近からエントリーしてしまった場合。このような形で揉み合いになってしまったら「下げ失敗」という事で逃げます。



キリ番▶

F 水平線でエント

水平線に上ヒゲでタッチを見て入った場合、下の「キリ番」付近でもんでいることを確認した辺りで逃げます。

※ この辺りから上位足 SMA がローソク足に追いついてきてる事。今まで上げていた **75SMA** も徐々に平坦になってきている点に注目して下さい。上昇の勢いが弱まってきています。



G 75SMAの頭揃い

75SMAよりもローソク足が下の位置で頭揃いしているポイント。ここでエントリーした場合、B付近の安値と1時間ミドルが合致してしまっている所で逃げます。1時間足ミドルに反応している時点で、まだショーターが有利な状況ではありません。



逃げる話が多いのは、まだ「MAが上向き」だからショーター強気はダメです！

でも逃げる体制があれば... 上げ相場でも取れますよ♪

今日からキミもゾーンハンター

GBPAUD 5分足

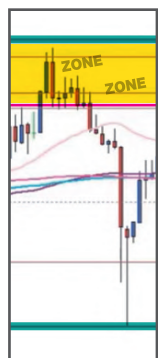


H 「通常ゾーン」を使ってゾーンエントリー



再びローソク足が水平線に近づき、少し抜けてダブルトップになった所。F地点のヒゲ高値で止まりました。Gのラスボス高値までの幅は約17pips^{※1}で、これはリオンの許容範囲。

これまでとは違ってMAも平坦になってきていて、ゾーン内なら上下に揺らされても足りていきやすいです。ゾーンハンターを使ってもOK。その後は1時間ミドルを抜けても面白いに。ここで逃げるか、ギリ番で弾かれて集束MAにのってしまった辺りで逃げます。



※1：トレードスタイルによって許容範囲は変わり人それぞれです。まずはデモ等で実践してみて「自分なりの基準」を探るようにして下さい。

I ゾーンエントリー2回目

I地点から作ったゾーンを活用する場面です。MAが平坦でレンジになっていると分かるので、「ゾーンの範囲内」で強気で足していけます。エントリーした後。ボックスの「下限付近」で長い下ヒゲが出ました。売り手の利確、買い手のロングが重なったサインと見て逃げます。

…その後、徐々にショーター有利な展開に

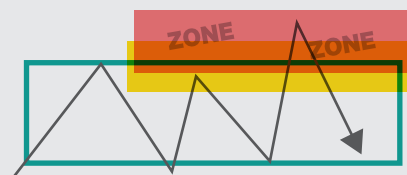


…さらにその後の展開がこちら。再度ボックス上限付近のゾーンに入り一気に下落。5分足で見た時の長いレンジになります。

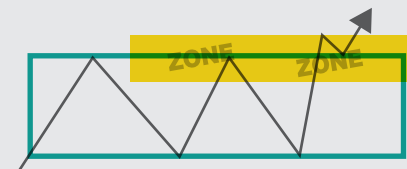
ですが、ここからMAも下向きになって「SMAの集束と拡散」現象も発生。徐々にショーター有利な展開になっていきます。



① 相場は行き過ぎるし届かない。線ではなく、ゾーンで捕らえる。



② 様々なゾーンパターンを脳内で考えておけば慌てない



③ 上に抜けたら逃げれば良い。下へ抜けてくれたら伸ばせばいい！ヨコヨコなら待機。

